

# わたしめのために だれかのために。 みんなで福祉のまちづくり！

だれもが生き生きと暮らせる地域をつくるためには、皆さん一人ひとりができることからお手伝いし、助け合うことも必要です。そのような住みやすい地域づくりへの取り組みが県内各地で始まっています。

## お年寄りを見守って、地域単位の絆を大切に

現在、水俣「ふれあいネットワーク」で活躍するふれあい活動員の数は2,000人以上。平成6年からスタートしたこの活動は、ふれあい活動員がその地域のお年寄りなどの自宅をローテーションで訪問します。この独自の「水俣方式」を生み出したのが、のどかな山あいにある野川地区。51世帯の地域に34人のふれあい活動員が活躍しています。「あいさつもしてくれなかった方が私たちの訪問を楽しみにしてくれたり、『こんなに大事にもらえて、野川地区に生まれて良かった』と言われたり、うれし



いことばかり(笑)」とリーダーの緒方美志子さん。今では、パーベキューや花見、祭りなどの交流会(ふれあいいきいきサロン)も毎月のように行っています。また、今年7月の大雨の時には、日ごろのチームワークを発揮して、迅速な連携プレーで災害に備えました。

「これからは高齢者だけでなく、若い世代にも住み良い地域づくりを目指したいですね」。緒方美志子さんたちの地域への深い思いが、ふれあいを大切にする温かい地域をつくり出していきます。

水俣「ふれあいネットワーク」ふれあい活動員  
(左から) 緒方 ときえさん、緒方 一代さん  
山下 佐恵子さん、緒方 美志子さん



## 家庭的で温かな地域の拠点に



365日、24時間体制で、地域のお年寄りや身体に障害のある児童をケアし、在宅生活を支える介護ホーム「はぶの」。ここは、介護が必要になっても、住み慣れた玉東町での関係を続けたまま暮らしてほしいということで、ごく普通の民家を拠点に、福祉ネットワークを駆使し、地域住民やボランティアの方も参加して運営されています。

ボランティアの一人、清田峯子さん(はぶの)の生ゴミを持ち帰り、堆肥化。そして、出来上がった野菜を提供するなどの活動をしています。「循環型農業を目指す私にとっては、ボランティアというより生活の一部。行ったときにおしゃべりをしたり、できることをしているだけ」。家庭的で温かい雰囲気「はぶの」には、大人から子どもまでいろいろな人が遊びに来て、お年寄りとの交流を楽しんでいます。

「はぶの」は、地区(土生野)の名前。「すべての地域に、住民をつなぐような拠点ができれば」と願うスタッフ。「はぶの」は、まさに地域の「開かれた拠点」になっています。

玉東町「介護ホームはぶの」を支えている  
清田 峯子さん



## サービスを届ける人、受ける人。住民同士の助け合いで、地域を守る

今年で3年目を迎える「菊陽町キャロットサービス」。登録制で、家事援助や買い物、子どもの送迎、障害児の支援など、さまざまなサービスを届けています。現在、登録している会員は、サービスを受ける「依頼会員」が約120人、サービスを届ける「協力会員」が約80人。双方の会員の仲介が、三浦さんの主な役目です。会の立ち上げは、「共働きで子どもを迎えに行くのが難しい」という方からの菊陽町社会福祉協議会への相談がきっかけでした。利用料金は、通常30分250円と安価。「『協力会員』は、仕事というより地域の役に立ちたい、という思いがないとなかなかできないでしょうね」と、三浦さん。「今後は、皆さんと協力し合いながら、安心して子育てできる地域環境づくりを目指したい。この会が、少しでも少子化の解決につながればいいですね」。「協力会員」の増加が、町のさらなる活気へのカギかもしれません。

菊陽町社会福祉協議会「菊陽町キャロットサービス」ボランティアコーディネーター

三浦 久子さん



### 利用者の声



登録のきっかけは、子どもの保育園入園。共働きで、迎えの時間に間に合わなくて困ってしまっ。迎えをお願いしている協力会員の方には、子どももなついていて、安心してお願いできます。

「菊陽町キャロットサービス」  
依頼会員 菊陽町 道下 真由美さん



県では、地域住民やボランティア、NPO(民間非営利組織)、行政や社会福祉法人などが協力して、住民だれもがその人らしく自立し、安心して暮らすことのできる、共に支え合う地域社会づくり「福祉のまちづくり」を進めています。そして、これをさらに充実させるために、熊本県地域福祉支援計画の策定に取り組んでいます。皆さんの地域でも、あがまち自慢の福祉のまちをつくってみませんか。

お問い合わせ先

熊本県福祉のまちづくり課 地域福祉企画班  
☎096-383-1111(内線7022) FAX096-387-5992  
電子メール fukushimati@pref.kumamoto.lg.jp